

科目名	映像リテラシーB1						年度	2026	
英語科目名	Image Literacy B1						学期	前期	
学科・学年	放送芸術科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	石川祐貴	教員の実務経験		有	実務経験の職種		放送業務		

【科目の目的】

カメラ機材、撮影手法を学ぶだけではなく、映像とは何を訴えているのか、伝えようとしているのかを理解する。放送業界で映像の概念はどんな職種に従事していても必要な知識であることから、この授業を通して番組制作や作品制作、映像鑑賞などで見る目を養うことを目的とする。

【科目の概要】

TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。

【到達目標】

学生間の共通認識ができること。映像に対する感性を育み、プロになる第一歩の意識を持つこと。社会人になることへの心構えを学び、スキルアップと同時に映像への興味を何段階も上位へ引き上げることを目標とする。他授業、特に実習授業にカメラ基礎で学んだ知識が生かせることを目標とする。

【授業の注意点】

キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	カメラ基礎を学ぶ理由を理解し、カメラワークやサイズについて意味や心理が分かる	カメラ基礎を学ぶ理由を理解し、カメラワークやサイズの意味が分かるが、心理が分からない	カメラ基礎を学ぶ理由を理解しているが、カメラワークやサイズの意味や心理が分からない	カメラ基礎を学ぶ理由を理解できないが、カメラワークやサイズの意味や心理が理解できる	カメラ基礎を学ぶ理由もカメラワークやサイズの意味や心理も分からない
到達目標 B	スタジオ業務や撮影方法が理解できる。ロケーション機材の名称や注意点が分かる。	スタジオ業務や撮影方法が理解できる。ロケーション機材の名称は分かるが注意点が分からない。	スタジオ業務は分かるが撮影方法が分からない。ロケーション機材の名称は分かるが注意点が分からない。	スタジオ業務は分かるが撮影方法が分からない。ロケーション機材の名称や注意点が分からない。	スタジオ業務や撮影方法が分からない。ロケーション機材の名称や注意点が分からない。
到達目標 C	撮影の事前準備を全て理解し基準信号の必要性や被写界深度の理論が分かる	撮影の事前準備を全てでは無いが理解し基準信号の必要性や被写界深度の理論が分かる	撮影の事前準備を全てでは無いが理解し基準信号の必要性が分かるが、被写界深度の理論が分からない	撮影の事前準備を全てでは無いが理解し、基準信号の必要性や被写界深度の理論が分からない	撮影の事前準備がほとんど理解していない。基準信号の必要性や被写界深度の理論が分からない
到達目標 D	カメラ本体、レンズの仕組みを理解し、ケーブルの種類、使用用途を理解している。特殊機材の種類や用途、安全対策が分かる。	カメラ本体、レンズの仕組みを理解し、ケーブルの種類、使用用途を理解している。特殊機材の種類や用途、安全対策が分からない。	カメラ本体、レンズの仕組みを理解し、ケーブルの種類は分かるが、使用用途が理解できない。特殊機材の種類や用途、安全対策が分からない。	カメラ本体、レンズの仕組みを理解しているがケーブルの種類、使用用途が理解できない。特殊機材の種類や用途、安全対策が分からない。	カメラ本体、レンズの仕組みが理解できない、ケーブルの種類、使用用途が理解できない。特殊機材の種類や用途、安全対策が分からない。
到達目標 E	会話軸、カット割り、ト書きを理解し、基本ショット、アクションつなぎの重要性が分かる。レンズの使い方を理解している	会話軸、カット割り、ト書きを理解し、基本ショット、アクションつなぎの重要性が分かる。レンズの使い方が理解できない	会話軸、カット割り、ト書きを理解しているが基本ショット、アクションつなぎの重要性が分からない。レンズの使い方が理解できる	会話軸、カット割り、ト書きを理解しているが基本ショット、アクションつなぎの重要性が分からない。レンズの使い方が理解できない	会話軸、カット割り、ト書きも理解できず、基本ショット、アクションつなぎの重要性が分からない。レンズの使い方が理解できない

【教科書】

資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		映像リテラシーB1			年度	2026
英語表記		Image Literacy B1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	カメラ基礎	カメラ基礎を学ぶ理由	1 仕事の分類	カメラにおける仕事内容	3	
			2 番組制作方法	カメラマンから見た番組制作方法		
2	カメラワーク	カメラワークを理解する	1 カメラワーク名称	共通の名称を知る	3	
			2 動きの理解	カメラワークの内容		
			3 カメラワークの意味	ワークの必要性、意味を知る		
3	カメラサイズ	カメラサイズを理解する	1 画角	画角の理解	3	
			2 与える心理	画角によって与える影響を理解		
			3 思考	画角の意味を知る		
4	スタジオワーク	スタジオワークを理解する	1 スタジオ業務	スタジオ業務の基本を知る	3	
			2 撮影方法	スタジオ撮影時の注意点を学ぶ		
			3 スイッチング各種	スイッチングの名称と実務を知る		
5	ロケーション撮影	ロケーション撮影を理解する	1 ENGの意味	ENGの歴史	3	
			2 撮影機材	ロケーション撮影時の使用機材 各種		
			3 注意点	ロケーション撮影時の注意点		
6	撮影準備	撮影をする事前準備について	1 アイリス	アイリス機構を正しく理解する	3	
			2 NDフィルター	適正アイリスにするためのフィルター選択		
			3 ホワイトバランス	正しいホワイトバランスの調整方法		
7	カメラ設定	撮影をする事前準備について	1 タイムコード	タイムコードを理解して正しい設定をする	3	
			2 記録モード	番組や作品の分類を把握して正しい記録モードの選択		
			3 フォーマット	番組や作品の分類を把握して正しいフォーマットの選択		
8	被写界深度	被写界深度の定義	1 被写界深度	被写界深度の理論を理解する	3	
			2 活用法	被写界深度を活用した撮影		
9	映像信号の基準	カラーバーの意味	1 カラーバーの各色	カラーバー各色の名称	3	
			2 光の三原色	加法混色を通して理解する		
			3 色の三原色	減法混色を通して理解する		
10	カメラ本体、レンズの仕組み	カメラ本体、レンズの仕組みを知る	1 撮像センサー	撮像センサーの仕組みを理解する	3	
			2 焦点距離	焦点距離の違いを理解してレンズの特徴を知る		
			3 ズーム比率	ズーム比率の出し方		
11	インターレス、プログレッシブの定理	映像・ハイビジョンの定理を理解する	1 映像の成り立ち	インターレス・プログレッシブ	3	
			2 アスペクト比	画面比率の理解		
			3 4K、8K放送	画素（ピクセル）の理解		
12	ケーブルの種類	ケーブルの種類、使用分類の理解	1 同軸ケーブル	同軸ケーブルの特徴やコネクタを理解する	3	
			2 光カメラケーブル	光カメラケーブルの特徴を理解する		
			3 伝送方法	ビデオ信号伝送規格を理解する		
13	ドローンの知識	ドローンの安全基準、安全対策	1 行動規範	操作する際の順守すべきこと	3	
			2 禁止事項	禁止されている事項		
			3 技能認定	技能認定と免許制度の違い		
14	ドラマ撮影の基礎	ドラマ撮影の基本を学び、作品制作に生かす	1 イマジナリーライン	会話の方向性の理解	3	
			2 カット割り	演出意図に合わせたカットの理解		
			3 アクションつなぎ	アクションでつなぐ場合の必要性		
15	音楽番組の基礎	音楽番組の基本を学び、作品制作に生かす	1 音楽番組の基本	音楽番組の基本を理解する	3	
			2 カット割り	演出意図に合わせたカットの理解		
			3 カメラワーク	音楽に合わせたカメラワークの重要性を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等